

## 委員会活動 報告書

日本技術士会中国本部防災委員会

事業名称	廿日市市市民活動センター「2024年度 協働によるまちづくり」 第1回災害から身を守るための防災教室「災害に遭遇した時の準備と知識」
実施時期	2024年6月1日(土) 13:30~16:30
実施場所	廿日市市市民活動センター 2F 第1研修室
実施	広島県災害復興支援士業連絡会、日本技術士会中国本部防災委員会
参加者	47名(地域住民18名、オンライン20名、広島弁護士会5名(友清、砂本、工藤、濱野先生他)、技術士会3名(山下、青原、香村)、広島JRAT(川村先生))
講師	広島弁護士会 友清一郎他、技術士会 山下祐一、広島JRAT 川村美紀子
事業内容 と感想	<p>2024年度に廿日市市市民活動センターで「2024年度 協働によるまちづくり」をテーマとして、第1回災害からの身を守るための防災教室」を開催した。</p> <p>講演の題目と講師は次の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 「災害後の生活再建ワークショップ」 広島弁護士会 友清一郎他</li><li>2) 「大規模地震発生の実態とその準備・対策」 技術士会 山下祐一</li><li>3) 「災害後の心身機能低下の予防について」 広島 JRAT 川村美紀子</li></ol> <p>広島弁護士会の友清先生から、災害発生後、「命が助かってよかった！その後は」について、「被災者を待ち受ける課題」を整理された。「被災者の相談の特徴」として、被災者一人一人、状況が違う状況が違うことから、被災者一人ずつ、状況や希望を聞きながら、生活再建の方法を考える必要があるとのことでした。被災者に対する支援制度として、災害直後(応急修理制度、基礎支援金、災害援助資金貸し付け)、その少しあと(応急仮設住宅、公費解体制度、雑損控除)、その後(加算支援金、被災ローン減免制度、災害復興住宅融資)と3段階に分け説明をしていただきました。引き続き、ワークショップとして、広島市廿日市の山沿いに住む70代の夫婦を対象とした事例をグループで討議し、その成果を発表とともに解説をされた。皆さん知識の確認ができたと思いました。</p> <p>技術士会の山下からは、防災委員会で活動している高齢者・小中学校の防災教育とともに、年2回する講演会の紹介をしました。大規模地震災害として、2016年の熊本地震、2024年の能登半島地震を事例として、被災の状況である、家屋の倒壊、火災、液状化、津波被害などを説明しました。大規模災害への準備・対策として、廿日市を対象として、南海巨大地震と地元の五日市断層などの被害について説明し、地震の対する備えや災害発生後に重要と考えること、災害後の防災まちづくりについても解説した。</p> <p>広島 JRAT の川村先生からは、JRAT とはどのような活動をしている団体かを説明された後、「災害が発生したら、心身にどのような影響がある？」熊本地震の支援</p>

活動から、避難所の生活、トイレ、食事、衛生状態、ストレス（エコノミークラス症候群発生など）、車中の寝泊まり、生活不活発病などの説明をしていただきました。「もし、災害が起こった場合の心身機能低下の予防について」、生活を活性化  
する運動・活動、エコノミー症候群の予防運動、ふくらはぎマッサージ、について  
皆さんへの解説とともに、予防運動を会場で皆さんとともに実施し、体を動かすこと  
の大切さを確認しました。

今回、法律、技術、医療とそれぞれ違う士業の活動を紹介・説明しましたが、皆さんに災害に遭遇した時の準備と知識が伝わったものと考えられます。今後も、各士業の幅広い活動を紹介したいと思います。



広島弁護士会 友清一郎先生



広島 JRAT 川村美紀子先生



災害後の生活再建ワークショップの様子  
(3つのグループに分かれて討議)

広島弁護士会 濱野先生説明・運営

